一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質問順位	３　　４番議員　　佐々木　教雄	
質問事項１	高齢者対策について	
質問の要旨	今、全国的に少子高齢化・人口減少が進行する中、本町でも 2040 年に高齢化のピークを迎える予測であり、高齢者が地域でどのような支援を受けながら暮らしていくかという視点は町政の最も重要な課題の一つである。 本町では「第６次基山町老人福祉計画（高齢者福祉計画）」に基づき、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域一体包括システム」の構築や、健康寿命の延伸、認知症施策など取組が進められている。これら様々な取組は、後期高齢者医療療養給付費負担金、介護保険負担金や高齢者対応の扶助費抑制につながり、町財政への影響も大きい。そのため、今後 10 年間での確固たる体制確立が不可欠と考え質問する。	
具体的な質問 及び 質問の相手	（１）　大人の心体測定について ア　本年度で７年目の取組だが、過去の受診対象者数と受診者数を示せ イ　今までの蓄積されたデータから本町の特性・特徴の分析を示せ ウ　70 歳で受診した方の、75 歳におけるリピート受診の状況を示せ	町　長
	（２）　一人暮らし高齢者について ア　本町の一人暮らし高齢者人口を示せ。また、その内身寄りのない方（身内と疎遠の場合を含む）の人口を示せ イ　本町の一人暮らし高齢者への支援策として、民間と提携した見守り、生活支援コーディネーターによる個別訪問や、緊急連絡機器の貸し出しなど様々な支援を行っているが、本当に必要な方へ届いていると考えるか。進捗状況と評価を示せ	町　長

一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質 問 順 位	３　　４番 議 員　　佐 々 木　教 雄	
質 問 事 項 ２	地域公共交通新体系について	
質 問 の 要 旨	本町では本年 10 月よりコミュニティバスの再編とともに、予約型乗合タクシー「らくのるきやま」の本格運行が開始された。高齢化の進行や自家用車の運転に不安を抱える町民にとって、自宅から病院・スーパー等主要施設をつなぐ新な移動手段の確保は生活の質を左右する極めて重要な取組である。この新たな交通体系が利便性向上や基山町経済にも寄与するものと期待する。新たな交通体系が稼働して間もないが、現在の利用・運行上の課題、また町民への周知状況や利用実績についてどのように把握・評価し、来年度の見直しにつなげるか問う。	
具体的な質問 及　び 質 問 の 相 手	（１）　10 月度のコミュニティバス及び乗合タクシーの利用実績を示せ。また、令和７年 10 月～令和８年９月までのコミュニティバス利用者実績を示せ	町　長
	（２）　10 月度乗合タクシーの乗合率を示せ。また乗合率の向上への課題は	町　長
	（３）　コミュニティバス・乗合タクシー利用者それぞれの評価・意見の具体例があれば示せ	町　長